

公益財団法人ポエック里海財団

令和元年度 事業報告書

(令和元年 12 月 1 日から令和 2 年 11 月 30 日)

当財団は、ポエック株式会社が CSR の一環として平成 20 年から取り組んでいる小佐木島の再生プロジェクト事業（小鷺島バイオアイル計画）を発端とし、広く瀬戸内海の里海の再生及び保護を目指し、不特定多数の者の利益の増進を目的としたものを実施する事業体として、前身である一般財団法人ポエック里海財団が平成 23 年 12 月に設立した。

当財団は、「持続可能な経済の実現にむけて、私たちが育む自然環境、歴史、文化の保護に貢献するとともに、広く一般に瀬戸内海の里海文化への理解と関心を芸術的観点から醸成し、環境再生の研究への助成と人材育成を行うことで社会に貢献する」ことを目的に掲げている。

以下、令和元年度に実現した実施事業の概要について報告する。

財団の中心となる事業は、「離島再生事業（小鷺島バイオアイル計画）」、「里海環境を保護する人材育成事業」、「情報公開・普及事業」であり、当財団令和元年度期の活動実績としては、下記のとおりである。

1. 植樹活動、清掃活動

毎年実施している小佐木島での桜街道再生植樹、清掃ボランティア活動を令和 2 年 4 月 11 日（土）に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の国内での感染状況を踏まえ本年は中止することとした。

本活動は、限界集落化した小佐木島において、古民家・耕作放棄地の再生及び島外からの桜並木再生植樹・清掃ボランティア、里海文化に触れる島内ウォーキングを通して、里海文化の振興活動を実施することにより、島外からの人の誘致及び島民との交流による地域活性化を目指すことを目的としている。

小佐木島を広く一般の方にも知っていただくために、継続的に実施してきた活動であり、次年度以降での実施については、新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら検討していく方針である。